

消費者が求めるお肉



19ヘクタールの面積
東京ドーム4個分の広さ





現在飼育している牛の頭数

繁殖牛 8頭 肥育牛 14頭

育成牛 6頭 計 28頭



本校の和牛の特徴【体重】

5年前：500～600kg台

ビタミンコントロールなどがうまくいかず

体重がのらなかつた

現在：700～800kg台

生菌剤の導入

給餌実習のたびにチェックシートを記入

本校で育てた近江牛の紹介

400年以上愛されてきたブランド牛
脂肪交雑が良く、特有の香りと柔らかさ
がある

長浜農業高等学校



豚肉格肉
JA
トフーズ



長期肥育とは？

長い時間をかけてじっくりと育てること

本校平均 30ヶ月齢

長期肥育 34ヶ月齢

長期肥育をした肉の特徴

- ・サシが入る
- ・ドリップが出てこない締まりのある肉になる
- ・柔らかい肉質

長期肥育のメリットとデメリット

メリット

- ・肉の風味と質感の向上

デメリット

- ・病気になるリスクが高くなる
 - ・脂肪が付きすぎる
- 給餌方法の工夫

病気の兆候や変化に気付くため

毎日観察を行った

ブラッシングの利点

- ・ 血行促進の効果
- ・ 病気にならないための予防

日々のブラッシングでの発見

1. ストレス解消
2. 皮膚の状態に気が付けたこと
3. 信頼関係を築けたこと

1. ストレス解消

皮膚の状態が良くなり、
ハエなどが来なくなりました



2. 皮膚の状態に 気が付けたこと

カラスにケガを
させられました



3. 信頼関係を築けたこと

ブラッシングしている様子
牛自身も
うれしそうです



まとめ

- 1) 肉質向上を目指し、初めて長期肥育に挑戦した
- 2) 日々のブラッシングなどを通じて、牛の体調管理の重要性を改めて感じた
- 3) 牛の魅力を再認識できた

今後に向けて

- 1) 今回の活動をここでやめることなく、
継続していくこと
- 2) 専門的な知識・技術を探求していく
姿勢を持つこと
- 3) 近江牛の魅力を発信していく手段を
模索していくこと



ご清聴ありがとうございました。